

# 血液がん「新たな治療と新たな課題」

日時：2012年7月14日(土) 12:40~17:00

会場：伊藤謝恩ホール(東京大学伊藤国際学術研究センター)

血液がんの標準的治療と最近の治療の進歩について概説します。今回は従来取り上げてきた疾患だけでなくより多岐にわたる血液がんについての理解を深めることを目的として、3部から構成される会としました。

第一部は初心者コースとして、現状での血液がんの病態や治療、新しい治療薬を評価する臨床試験/臨床治験について基礎的な知識を深めてください。自分とは違う血液がんとその治療についても是非一緒に話を聞いてください。その概略を理解することで、あなた自身の病気をより深く知り、より良い治療選択をする上で、大いに役立つと思います。第二部では、グループに分かれ、多岐にわたる血液がんについて専門医を交えて皆さんの病気の治療の進歩を共有してください。参加するすべての方々に共通する様々な課題について意見交換を行い答えだけでなく、安心そして共感を持ちかえるようにしてください。第三部では、今回も血液がん治療の大きな課題である「血液がんの在宅医療」を取り上げます。この療養環境整備が整うことは血液がん患者さんにとっては大きな福音と考えます。是非このセッションにも積極的に参加して、環境整備に不可欠な現状での問題点・課題について皆さんが日頃思っていることを教えてください。

会の中で何か専門医に尋ねたい質問があれば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出してください。専門家のアドバイスを皆で共に聴いて、闘病生活のヒントをたくさん掴んでいただき、この会が日頃の疑問や不安の「解決の1日」となることを期待しています。

## PROGRAM

座長 中通総合病院 渡辺 新 総合司会 NPO 法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

12:40~14:10

### I 全体会(1) — 血液がんの病態と治療、臨床研究についての基本的な知識をもと!

#### 血液がん(分科会で扱う血液がん)の病態とその治療

病気はなぜ起こるのか、治療の目標は、選択できる治療法についての基礎的事項を纏めます。

慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎

#### 新しい薬剤の評価方法(臨床試験や臨床治験)を理解する

「いま治験中の薬」という言葉をよく聞きますが、現在治療中の人とその薬の関わりは?

東京大学医学部/日本臨床研究支援ユニット 大橋 靖雄

14:30~15:30

### II 疾患別Q&A分科会—各分科会同時進行—

各疾患の特徴と治療法の特性・進歩について講師から説明を受け、個々の疾患に関する質疑応答を行います。この分科会では、講師のレクチャーを聴くだけでなく、分科会参加者と講師が一体となって共有する問題を考えていきます。

◎骨髄増殖性腫瘍(真性多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症)	講師 慶應義塾大学病院 血液内科 宮川 義隆	司会 小瀬良 克也
◎骨髄性腫瘍(急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群)	講師 慶應義塾大学病院 血液内科 森 毅彦	司会 佐藤 恒
◎多発性骨髄腫	講師 日本赤十字社医療センター 血液内科 鈴木 憲史	司会 福田 雅宏
◎リンパ性腫瘍I(急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、成人T細胞性白血病)	講師 東京慈恵会医科大学付属病院 腫瘍・血液内科 矢野 真吾	司会 新井 辰雄
◎リンパ性腫瘍II(非ホジキンリンパ腫、ホジキン病)	講師 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 血液内科 矢野 尊啓	司会 松原 良昌
◎慢性骨髄性白血病	講師 慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎	司会 田村 英人
◎小児科	小児白血病治療の晩期合併症軽減に向けて	講師 中通総合病院 小児科 渡辺 新
司会	子どもの白血病治療の影響とそれを少なくする教育とは?	講師 国立成育医療研究センター 臨床研究推進室 船木 聡美
井上 富美子	闘病中・後の上手な学校生活支援の受け方—学校の現状と課題—	講師 埼玉大学教育学部 学校保健学講座 関 由起子

15:45~16:45

### III 全体会(2) — チーム血液の在宅医療

#### 血液がん治療を受けながらも、学校生活、仕事場、地位活動などで輝こう!

在宅医療の医師や看護師と病院現場の医師や看護師、経験者の患者・家族が、血液がんの在宅医療のいまとこれからについて語り合います。

座長 慶應義塾大学病院 近藤 咲子

16:45~17:00

### IV 総合討論—共に考えるより良い治療とより良い治療

講師全員による会場全体とのQ&A血液がん共通の質問を司会者が読み上げ、複数の講師からのアドバイスを聴き、各自の参考として共有します。

## 参加方法

お申し込みは **FAX** または **メール** お申込締め切り **7月10日(火)**

10日以後もお電話でのお申し込みを受け付けています。

つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局 (JTBコミュニケーションズ)  
FAX:0120-515-744 (フリーダイヤル) E-mail:info@kujimu.jp

### お名前

(患者会に所属されている方は会の名称をお願いします。)

### ご住所

〒

### ご連絡先

TEL :

FAX :

### 同伴者人数

人

### 車椅子ご利用者人数

人

### 参加希望分科会

分科会のご参加希望はおおよその人数把握のためです。代表申し込み者の現時点の希望のみでかまいませんので  して下さい

骨髄増殖性腫瘍

骨髄性腫瘍

多発性骨髄腫

リンパ性腫瘍 I

リンパ性腫瘍 II

慢性骨髄性白血病

小児科

(ご希望に  をお願いします)

直前のお申し込みで参加証の届いていない方は、当日直接受付までお越し下さい。

## 申し込みに関する問い合わせ

TEL : 0120-206-170 (フリーダイヤル)  
(土日、祝日を除く 10:00-17:00)

今回ご提出頂きます個人情報につきましては、事務局の業務範囲内に限定し、第三者に提供することはありません。

### ※事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4以下の紙1枚に、下記の①～④を書いて送って下さい。(締め切りは7月6日必着)

**FAX送付の場合** つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局 (JTBコミュニケーションズ) 0120-515-744 (フリーダイヤル)

**郵便送付の場合** 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留 NPO法人血液情報広場・つばさ 市民公開講座係

①病名 ②患者さんの性別と年齢

③ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。

④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)

ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

※寄せられた質問(ご相談)は、全体会・講演、疾患別分科会 Q & A などに対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。意外とたくさんの人が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。

また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

### 分科会司会進行役、開催広報等ご協力団体

NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター、慢性骨髄性白血病(CML)患者・家族連絡会「いずみの会」、日本骨髄腫患者の会、骨髄異形成症候群MDS連絡会、NPO法人ライフポート、院内患者会世話人連絡協議会(HosPAC)、NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、慢性骨髄増殖性疾患患者・家族会(MPD-NET JAPAN)、GIST・肉腫患者と家族の会「GISTRES.net」

### NPO法人血液情報広場・つばさ 賛助企業

ヤンセンファーマ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、 Bristol-Myers Squibb 株式会社、協和発酵キリン株式会社、中外製薬株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、株式会社ヤクルト本社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムRI株式会社